2016年 秋季号

京都府議会議員 vol.5

堤じゅん太 活動報告

活動報告

今をよくする、未来へつなぐ。

堤じゅん太事務所 〒617-0823 京都府長岡京市長岡２丁目２-９小池マンション南棟１ーA
TEL 075-323-7890 FAX 075-323-7430

９月定例会　一般質問に登壇！

◆ 潜在的な待機児童の解消に向けて ◆

京都府はこれまで保育所や小規模施設の整備、保育士の確保などを行い、待機児童の解消に向けて取り組んできました。しかし「保育園落ちた」のブログで象徴されるように、その取り組みが府民ニーズの水準にまで充分に達しているとは言えません。

一方で、待機児童数を国の基準により調査した結果では、京都府下で 64 人しかいないという非常に低い数値となっています。これは子育て中の府民の肌感覚とはかけ離れた数字です。また国基準の調査には、自治体の判断により待機児童から除外しても良いとされる児童数が設けられているため、現状から離れたデータとして示される一因となっています。

これらの背景を踏まえて、効果的な待機児童解消に向けての今後の取り組みに関して質問を行いました。

▲９月 23 日　一般質問

Q. 現在の待機児童数の調査では、現状に即した府民のニーズを十分に把握できていないのではないでしょうか。現状に即したデータに基づかなければ、有効な待機児童対策を講じる事ができません。府内に於ける潜在的な保育ニーズの実態把握をどのように行っているのか、今後どのように対応しようと考えているのか、対策を教えてください。

A. 平成 28 年 4 月 1 日現在の国基準による待機児童数は、府内で 64 人と集計されています。これに加えて今年から新たに潜在的な待機児童の調査を行ったところ、「特定の保育施設を希望」が 646 人、「保護者が育児休業中」が 44 人、「保護者が求職活動を休止」が 25 人、「地方独自事業を利用」が 27 人、合わせて 742 人の潜在的な待機児童が府内にいる事が分かりました。京都府では、この 3 年間で約 3,000 人の定員増を図って待機児童の削減を着実に行ってきました。しかし、一部市町村では予想を超えるスピードで保育ニーズが高まっている状況にあります。地域的な需要を見通しながら、施設整備を前倒しで行います。

Q.64 名の待機児童の内訳を見ると、長岡京市が 46 人、亀岡市が 12 人、向日市が 6 人と特定の地域に偏って発生しています。これら自治体も待機児童解消に向けた積極的な取り組みを行ってきましたが、追い付いていません。今後、待機児童が発生している自治体に対してさらに手厚く支援する必要があると考えますが、ご所見をお伺いします。

A.これらの市町村に於ける待機児童の解消を最優先課題として、潜在ニーズを含めた受け皿整備を「待機児童解消加速化プラン」に位置づけ、補助率の引き上げなど保育所整備を重点的に進めています。特に待機児童が集中して発生している0～2歳児の受け皿となる小規保育施設の整備を積極的に進めています。加えて、保育人材の確保についても返還不要の貸付制度の創設や、府・市・関係団体による保育人材確保・養成対策協議会を設置し、待機児童の解消に全力を挙げて取り組んで参ります。

→裏面へ続く

◆ 子どもの貧困対策と保護者の仕事（ワーク）と生活（ライフ）のバランス ◆

我が国においても、所得の二極化が社会問題としてここ数年の間に大きく取り上げられるようになりました。所得の低下が原因で十分な教育を受ける事ができないため、貧困が更に子供の世代に連鎖してしまう、いわゆる貧困の連鎖が問題視されています。

家庭生活は子ども達に基本的な生活習慣や社会教育を施す重要な場です。しかし現在、世帯の所得が低下している事から共働きをせざるを得ない、所得を確保するための長時間労働のせいで、子どもと顔を会わせる時間を作れないという家庭も増えています。貧困を連鎖させないためには子ども達に十分な教育の機会を提供する必要もありますが、それ以前に学力を上乗せするための素地となる家庭教育の時間を確保できるように、保護者の働き方について考える必要があるのではないでしょうか。

Q.家族や家庭の時間が子どもの育ちに与える影響に関して、どのようなご所見をお持ちでしょうか。また、子どもの育ちの観点から、保護者の仕事と生活のバランスを確保する支援策をどのように実施していこうとお考えか方針をお聞かせください。

A.子どもの貧困問題は、生まれ育った環境や経済状況によって子どもの未来が閉ざされかねない非常に大きな問題です。子どもが、家庭や家族を含めて愛情あふれる多くの人と触れ合う環境をどのように確保していくかが大きな課題です。そのための仕事と生活のバランスは豊かな社会実現や、子育ての観点からも重要だと考えています。京都府では「京都ワーク・ライフ・バランスセンター」で、働き方の見直しの助言、企業がワークライフバランスに取り組むための様々な環境を整えるための補助を行い、多様な働き方ができる環境づくりに努めて参ります。

私たちは「豊かな生活とは何か」と改めて考える転機にあると感じます。貧困は経済的な側面だけでなく、時間的・精神的な面でも連鎖してしまいます。未来を生きる子ども達が豊かな生活を送れるよう、今を生きる政治家として貧困の連鎖を断ち切るために引き続き全力で取り組んで参ります。

京都府議会議員 堤じゅん太 活動風景

▲8 月 24 日議員研修会　杉原千畝記念館訪問

▲9 月 9 日議員団　タイ王国サラブリ高校視察

▲9 月 12 日議会風景

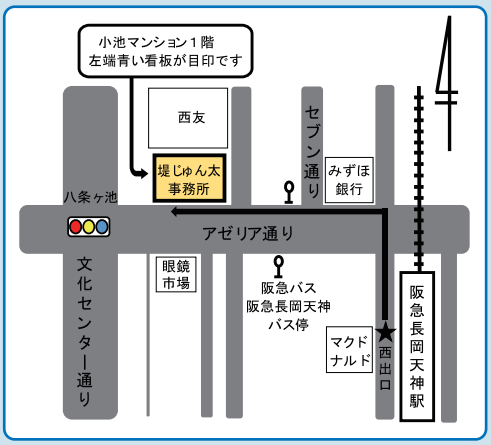
▲10 月 1 日後援会　じゅん友会「秋の集い」

▲10 月 2 日はっぴぃバス 10 周年記念イベント

▲11 月 9 日農商工労働常任委員会 青森県へ視察

堤じゅん太プロフィール

1978 年 6 月 25 日生まれ
京都大学総合人間学部 卒業
長岡京市の民間企業 勤務
2009 年 長岡京市議会議員 初当選
2015 年 京都府議会議員 初当選 現在 1 期目
農商工労働常任委員会・スポーツ振興特別委員会所属
趣味：料理・旅行・茶道

ご相談はお気軽に**堤じゅん太事務所**まで

〒617-0823　京都府長岡京市長岡 2 丁目 2-9 小池マンション南棟 1-A
TEL：075-323-7890　FAX:075-323-7430　E-mail:info@t-junta.com